

特攻機格納か 竹林に壕

熊本市の 戸島山麓 健軍飛行場 貴重な遺構

太平洋戦争中、旧健軍飛行場(熊本市東区)の飛行機を空襲から守るために格納していた掩体壕の跡が、同区戸島本町の竹林で確認された。専門家は「同飛行場に関連する遺構は現存しておらず、貴重な発見」と話している。

健軍飛行場は1943(昭和18)年、現在の県立大(同区月出)の奥に開設。終戦間際には、米軍から沖繩の

北東に約2キロ離れた戸島山北側。裾野を「C」字形にくりぬいて造られ、草木をかぶせた屋根のない「無蓋掩体壕」とみられる。

「翼のもげた飛行機が置かれていた」「白いマフラーを巻いた20代前半くらいの飛行兵たちが近くの家に泊まっていた」などの証言が得られており、形状などが併せ、掩体壕と確認した。

高谷さんは「防空を担う機体の掩体壕であれば、滑走路の近くにあるはず。予備機や本土決戦に備える特攻機を隠すために造られたのではないかと推測する。

「翼のもげた飛行機が置かれていた」

「白いマフラーを巻いた20代前半くらいの飛行兵たちが近くの家に泊まっていた」などの証言が得られており、形状などが併せ、掩体壕と確認した。

高谷さんは「防空を担う機体の掩体壕であれば、滑走路の近くにあるはず。予備機や本土決戦に備える特攻機を隠すために造られたのではないかと推測する。

「翼のもげた飛行機が置かれていた」

「白いマフラーを巻いた20代前半くらいの飛行兵たちが近くの家に泊まっていた」などの証言が得られており、形状などが併せ、掩体壕と確認した。

高谷さんは「防空を担う機体の掩体壕であれば、滑走路の近くにあるはず。予備機や本土決戦に備える特攻機を隠すために造られたのではないかと推測する。

「翼のもげた飛行機が置かれていた」

「白いマフラーを巻いた20代前半くらいの飛行兵たちが近くの家に泊まっていた」などの証言が得られており、形状などが併せ、掩体壕と確認した。

高谷さんは「防空を担う機体の掩体壕であれば、滑走路の近くにあるはず。予備機や本土決戦に備える特攻機を隠すために造られたのではないかと推測する。

「翼のもげた飛行機が置かれていた」

「白いマフラーを巻いた20代前半くらいの飛行兵たちが近くの家に泊まっていた」などの証言が得られており、形状などが併せ、掩体壕と確認した。

高谷さんは「防空を担う機体の掩体壕であれば、滑走路の近くにあるはず。予備機や本土決戦に備える特攻機を隠すために造られたのではないかと推測する。



竹林に覆われた掩体壕跡に立つ古閑宏二郎さん(左)と高谷和生さん(右)熊本市東区

ズーム 掩体壕 太平洋戦争中、飛行機を空襲から守るため、飛行場周辺に分散して造られた防御用の格納庫。木製やコンクリートの屋根で覆った「有蓋(ゆうがい)」、土塁で囲み、竹の骨組みや草木などをかぶせた「無蓋(むがい)」がある。くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワークによると、県内はあさぎり町に木製有蓋が5基、菊池市、玉名市、錦町に無蓋が計5基残る。

女子プロゴルファー、古閑美保さんの父、宏二郎さん(56)が自宅に隣接するこの土地を昨年12月に購入。子ども頃、祖母が「えんたいこう」と言っていたことを思い出して、戦争遺構の調査・保存に取り組み「くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク」の代表、高谷和生さん(63)「玉名市」に調査を依頼した。

地元の高齢者から「翼のもげた飛行機が置かれていた」「白いマフラーを巻いた20代前半くらいの飛行兵たちが近くの家に泊まっていた」などの証言が得られており、形状などが併せ、掩体壕と確認した。

高谷さんは「防空を担う機体の掩体壕であれば、滑走路の近くにあるはず。予備機や本土決戦に備える特攻機を隠すために造られたのではないかと推測する。

「翼のもげた飛行機が置かれていた」

「白いマフラーを巻いた20代前半くらいの飛行兵たちが近くの家に泊まっていた」などの証言が得られており、形状などが併せ、掩体壕と確認した。

高谷さんは「防空を担う機体の掩体壕であれば、滑走路の近くにあるはず。予備機や本土決戦に備える特攻機を隠すために造られたのではないかと推測する。

「翼のもげた飛行機が置かれていた」

「白いマフラーを巻いた20代前半くらいの飛行兵たちが近くの家に泊まっていた」などの証言が得られており、形状などが併せ、掩体壕と確認した。

高谷さんは「防空を担う機体の掩体壕であれば、滑走路の近くにあるはず。予備機や本土決戦に備える特攻機を隠すために造られたのではないかと推測する。

「翼のもげた飛行機が置かれていた」

「白いマフラーを巻いた20代前半くらいの飛行兵たちが近くの家に泊まっていた」などの証言が得られており、形状などが併せ、掩体壕と確認した。

高谷さんは「防空を担う機体の掩体壕であれば、滑走路の近くにあるはず。予備機や本土決戦に備える特攻機を隠すために造られたのではないかと推測する。

「翼のもげた飛行機が置かれていた」

「白いマフラーを巻いた20代前半くらいの飛行兵たちが近くの家に泊まっていた」などの証言が得られており、形状などが併せ、掩体壕と確認した。

高谷さんは「防空を担う機体の掩体壕であれば、滑走路の近くにあるはず。予備機や本土決戦に備える特攻機を隠すために造られたのではないかと推測する。



(益田大也)